

伊方3号炉でのプルサーマル計画は撤回されるべきである

西尾 漠（原子力資料情報室）

- 1．原発は、大きな潜在的危険性をもつ。
- 2．そのため原発は、危険性を顕在化させないよう、安全余裕を見込んで建設された。
- 3．その安全余裕がより小さくされてきている。
 - a．老朽化（高経年化）
 - b．定期検査の見直し
 - c．「メンテナンス人材」の欠乏と人為ミス多発
 - d．高燃焼度化
 - e．地震リスクの過小評価
 - f．原子炉攻撃などの現実化
 - g．プルサーマル
- 4．プルサーマルによる安全余裕の切りつめは正当化できない。
- 5．プルサーマルは、資源の有効利用にならない。
- 6．プルサーマルで、経済性は悪化する。
- 7．プルサーマルは、核拡散を促す。